

放射ノイズ簡易チェック

◇ 発信周波数の簡易測定

[アプリケーション ～*Application*～]

DUTが放射する周波数帯域を簡易的に測定します。特にEMCノイズ対策及び電波法、不要輻射の確認等に優れた効果を発揮します。

暗室を使用した正式試験では多くの時間と費用を要します。但し、絶対値の特定は出来ないまでも、不特定な周波数が規定値外に発信されているのか？をチェックするだけであれば、スペクトラムアナライザと簡易ループアンテナとの組合せで確認が出来ます。

当システムは正式試験を行う前の事前評価または不合格の際に、デバッグ用途として、相対的な評価を行うことができます。低価格でノイズ成分のチェックが可能であること、またその後のシステムアップが図れることなどから好評の簡易測定ツールです。

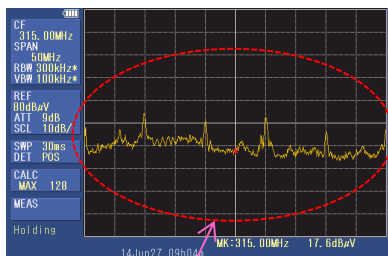
[ソリューション ～*Solution*～]

測定イメージ

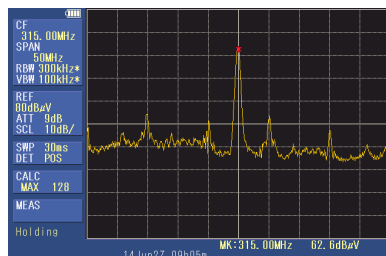
[キーレス OFF]



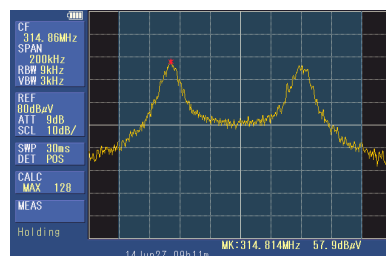
[キーレス ON]



- ①. 近隣ノイズの状態を確認。
- ②. 無数に飛び交うノイズ成分等が確認出来るようにリファレンスレベルを調整。
- ③. MAXホールドで大まかな傾向を把握。



- ④. キーレスをアクティブ。
- ⑤. ③同様にMAXホールド測定。
- ⑥. マーカで周波数を特定。



- ⑦. 必要に応じパラメータを変え、周波数成分の確認等を行う。

[システム構成・価格 ～*System constitution & Price*～]

■ 手頃な放射ノイズの簡易チェックツールです。

① EMI用スペクトラムアナライザ [MSA438E]	1台	598,000
② N→SMA 同軸ケーブル 1.5m	1本	8,000
③ 小型ループアンテナ (大小2本1組)	〃	20,000

合計価格(税抜) 626,000

詳細は別途 弊社営業担当までお問合せ下さい。